

「昭和町第2次自殺対策計画」町民意見制度(パブリックコメント)結果公表

1 実施期間 令和6年2月16日(金)～3月6日(水)

2 意見の提出方法と結果

提出方法	結果
電子メール	1件

パブリックコメント(原文のまま)

様々な視点、レベルで対策が計画されていることを知りました。心療内科・精神科診療所に勤務していることを記したいと思います。

心配になったのは、昭和町では連携している専門医、必要になった場合に紹介できる専門医は確保されているのか？ 或いは、どう確保していく予定なのだろうか？ という点です。

(以下、私の知る限りでの内容です)

現在、県内の精神科・心療内科医療機関に初診の問い合わせをしても、2 ヶ月待ちや、初診の予約を受けていないと言われてしまうことがほとんどだと思います。個人のクリニックはもちろん、医師が複数いる精神科病院でも同様の傾向のようです。

昭和町に限らず、県全体の問題です。山梨県は2023年の自殺死亡率が全国1位と聞きましたが、反対に、2020年の精神科診療所医師数(人口10万人当たり)は44 位と下位を占めています。もともと県内に精神科・心療内科の外来が少ないうえに、この数年の間に精神科診療所の閉院や長期休診が相次いだことも大きいと思います。児童精神科は更に少ない印象です。

誰も「死にたい」気持ちに追い込まないための、社会全体、地域、職場、学校、家庭での取り組みがあり、それでもなお医療が必要な状態になった時に、すぐに医療につながる事が難しいのが現状ではないかと思います。

精神科受診への抵抗は、だいぶ低くなってきていると感じます。誰もが、望むときに気軽に受診できるようなメンタルクリニックがあることは、自殺対策だけでなく、社会の様々な課題の解決につながるものと思っています。地域の活性化や、生産性の向上、個人の所得増加、少子化対策、虐待、認知症になっても安心して地域で暮らせること・・・多くのことは、メンタルヘルスの向上抜きに考えることはできません。精神科・心療内科診療所の開設を、メンタルヘルス対策の一つとして行政が関わって進めていくことは可能なのでしょうか。。

異動や就職、進学など環境が変わり、また季節の変わり目でもあります。心のバランスを崩す人が増える時期で、精神科・心療内科の不足がより懸念され、この機会に日頃感じていることをお伝えさせていただきました。今回のパブリックコメント募集の趣旨から外れるところもあるかもしれませんが、どうぞご容赦ください。

回答①

昭和町福祉介護課では、昭和町をはじめ、甲府市、甲斐市、中央市など近隣の精神科・心療内科診療所の初診受け入れ状況を随時確認しています。

令和6年3月現在で、甲府市と甲斐市の診療所がそれぞれ1か所、1週間から2週間程度の待ち時間で、比較的早く受診が可能となっています。

心の問題に関して福祉介護課に相談があった場合には、相談者の状況を把握し、必要に応じて、これら比較的早期受診が可能な診療所の紹介を行うこととしています。

引き続き、近隣診療所の初診受け入れ状況の把握に努めていきます。

回答②

昭和町として、例えば町立の診療所を開設するなどには予算的な面や人的な面から大変難しい状況です。

上記回答①の診療所の初診受け入れ状況の把握を適宜行い、相談者のメンタルヘルス向上に努めていきます。